

内外交差点

地域公共交通関連制度が進化する中、 タクシー業界は大きく遅れている

加藤 博和氏 (名古屋大学大学院教授) 第3/12回

「タクシー業界紙とのことですが、まるでライドシェア業界紙ですね」

当研究室に届く本紙などのタクシー業界紙を見て、学生がこうつぶやいた。見出しを追っていけばそう見えるのも当然である。

「何がどうなっているのかわからず、何をしたいのかわからないし、できることも少ないが、とにかくやるしかない」——。ある小さな市の地域公共交通会議で、タクシー会社の社長さんがこう発言されたが、多くの社長さんがそのようなお気持ちなのだろうと察する。中でも、昨年今頃には影も形もなかった「自家用車活用事業」いわゆる日本型ライドシェアが既に大都市で実施されていることには、いい悪いは別として、とてもついていけないと考えている人が多いことだろう。ちなみに、マスコミから「日本型ライドシェアの営業がまだ非常に少ないのは問題ではないか」との質問を何度も受けているが、「質が確保されたドライバーをそろえるのは大変で、これだけ短期間で営業開始しただけでもすごく、少ないのは当然。一方で、アプリがちゃんと対応できていることには驚いた」と答えてきた。

世間には「諸外国で行われてきたライドシェアとは全く異なる仕組みであり、これをもってライドシェアと呼ぶこと自体がまやかだ」と主張する人もいれば、「タクシー不足に対応する方法として妥当であり、迅速に実施できたことも素晴らしい」と主張する人もいる。もちろん、「こんなことをやる必要は一切ない」と思う人たちもいまだ多数であろう。

さて、自家用車活用事業は、道路運送法78条「3号」に基づくしくみである。一方で、78条「2号」に基づいて2006年に本格実施され今に至る自家用有償旅客運送事業についても、全国のポジティブな自治体が積極的な活用に動いており、それをサポートする国の制度見直しも行われた。

昨年は国土交通大臣が「地域公共交通再構築元年」と宣言し、改正地域交通法等が10月1日に施行された。これに関するマスコミ報道の大半は、ローカル鉄道線のあり方を検討し新たな方向に進むために国が関与する新スキーム（いわゆる再構築協議会）のことであったので、タクシーは特に関係ないと思っている方もおられるかもしれない。しかし法改正では、乗合バスで2006年から行われてきた、市町村主宰の

地域公共交通会議による運賃変更（いわゆる協議運賃）の制度が、運賃協議会という新たな組織体に移行されるとともにタクシーや鉄道でも活用できることになったのだから、関係ないでは済まされない。

このところ乗務員不足等を解決するためにタクシー運賃改定が進み、時間指定配車料金の導入も広がるなどの変化があったが、これは従来からの国の許認可制度にのっとり、その縛りの厳しさや手続きの大変さも従来通りである。

これに対し協議運賃制度では、地域の状況を考慮した料金の導入が容易となり、地域の同意も同時に得られる。現在、各自治体が新設を進めている運賃協議会の多くで、タクシー料金見直しも可能な規定が盛り込まれている。ちなみに、夜間のタクシー不足が深刻な某市の会議で「夜の迎車・待機料金を運賃協議会を使って上げてはどうか？」と発言したら、タクシー業界代表の委員は目が点になっていた。そしてその後、動きはない。

自家用有償運送のうち利用者が限定されないものは、2020年の地域交通法改正で公共交通機関の一つに位置付けられた。78条2号による自家用有償運送は地域公共交通会議でその態様や対価を決める。導入検討の際、先に緑ナンバー事業者が、同じ運行を行うか、事業主体から運行を受託し白ナンバーで行う権利があり、もし4カ月間にその提案がなければ「交通空白地」とみなされて自家用有償運送が導入されるといしくみが2018年からある。私自身もその周知を行ってきたが、ほとんど広まっておらず、業を煮やした一部自治体の要望を受けて国は今年から、4カ月を2カ月に短縮し以降は首長の裁量で自家用有償運送を導入できるしくみにした。2カ月は一瞬である。

以上、地域公共交通に関する制度の動きを概説したが、制度変更だけでは何の意味もなく、それを使って地域公共交通がよりよいものとなることこそが国民の期待である。そのためにタクシー事業がどう貢献すべきかを、具体的な案、そして実物で示してほしいものである。それが見えないから、ライドシェアの話がこれだけ盛り上がる。制度変更はタクシー業界の外堀を埋めるようである。一方、地域交通法を活用した新たな取組は、業界紙の紙面にも全く見受けられない。

タクシー不足はきっかけに過ぎない。それを含めた地域公共交通の諸課題に能動的に対応する態度をとらないなら、自家用有償運送と入れ替わりに、タクシーは地域公共交通でなくなってしまうのかもしれない。

